112 Business Letter
News&Topics

浅田会計事務所
ASADA BUSINESS SERVICE

平成 31 年 4 月 19 日発行



２兆円の消費増税対策が発表されました

先日 2019 年 10 月の消費税増税を前提とした 19 年度予算が成立しました。消費税率 10%への引き上げまで残り半年を切り、対策として約 2 兆円の予算が組まれました。政府が打ち出した主な対策は以下の通りです。

政府が実施する消費増税対策	
キャッシュレス決済でポイント還元 	クレジットカードなどのキャッシュレスで買い物をすると、2020 年 6 月までの期間限定で最大 5%分のポイント付与
プレミアム付き商品券発行 	400 円で 500 円分の買い物ができる商品券。購入できるのは、2 歳以下の子供がいる家庭と住民税非課税世帯。 上限は 1 人当たり 2 万円で、2 万 5000 円分まで購入することができる。
住宅ローン減税の延長 	10 年から 13 年に延長。 10%の消費税率が適用される住宅を購入し、今年 10 月から来年末までに入居する人が対象。すまい給付金も拡充。
自動車税の減税 	毎年払う自動車税を最大 4500 円減額。 購入時の税負担は期間限定で下げる。 10 月からは自動車取得税が廃止され、燃費性能に応じた「環境性能割」が導入される。
軽減税率の導入 	飲食料品などの税率を 8%に据え置き。 外食や店内での飲食は対象外。
教育無償化や社会保障の拡充 	低年金者への毎月最大 5000 円の支給制度や、3～5 歳の幼児教育・保育無償化を実施。
国土強靭化 	空港や道路など重要インフラの防災対策など公共投資を実施。

これまで二度にわたり見送られてきた消費税率 10%への引き上げですが、今回はリーマンショック級の事態が起きない限り予定通り実施すると言われています。増税後の個人消費が落ち込まないよう用意された手厚い対策、その効果に期待したいところです。

ビジネスレター
News&Topics

浅田会計事務所
ASADA BUSINESS SERVICE

「働き方改革」がスタートしています

4 月 1 日から働き方改革関連法が施行されています。この法律は、「長時間労働の是正」、「正規・非正規の不合理な処遇差の解消」、「多様な働き方の実現」という 3 つが柱になっています。働き方改革の言葉は浸透してきましたが、実際にどのような内容で、事業主は主にどのような点に注意すべきなのでしょうか。

① 有給休暇年 5 日取得

労働者に年 5 日の有給休暇を必ず取得してもらうことが義務づけられました。

② 時間外労働の上限設定（中小企業は 2020 年 4 月 1 日より施行）

原則として月 45 時間・年 360 時間以内とされました。

③ 同一労働同一賃金（中小企業は 2021 年 4 月 1 日より施行）

正社員とパートタイムなどの非正規社員の間に不合理な待遇差を設けることは禁止されます。
基本給や手当だけでなく、休暇、福利厚生など全ての待遇が対象です。

働き方改革にはこの他にも高度プロフェッショナル制度（脱時間給制度）の導入など、様々な施策が講じられています。少子高齢化により労働人口の減少が進む日本において、長時間労働の是正と多様で柔軟な働き方を目指して、企業の大小を問わず改革していく必要がありそうです。

最近よく聞くカタカナ語　どのくらい知っていますか

テレビや新聞、雑誌に氾濫するカタカナ語や略語。聞いたことはあるのに、戸惑うものが殆どです。そこで、ビジネスはもちろん日常生活でも最近よく聞くカタカナ語をいくつかご紹介します。

カタカナ語	意味
アジェンダ	行動計画。議題。最近の会議は「本日のアジェンダは…」で始まる。
インフルエンサー	影響力のある事物や人物。インフルエンザとは無関係。
エビデンス	証拠。根拠。最近の会議は「エビデンスを残しておいて」で終わる。
サブスクリプション	毎月一定額を支払う定額制サービス。有名なものは音楽配信サービスの Spotify。
ダイバーシティー	多様な人材を活用すること。雇用の機会均等。お台場だと思い込むと話題に付いていけない。
プラットフォーマー	物や情報をやり取りする基盤を開発し、独占的地位を確立している巨大 IT 企業の呼称。「トランスフォーマー」の続編ではない。
ユニコーン	時価総額 10 億ドル（約 1100 億円）超の未上場企業。「一角獣」とも呼ばれる幻の動物が語源で、Uber や Airbnb などがユニコーン企業と呼ばれている。
GAFA（ガーファ）	米国の主要 IT 企業（Google、Amazon、Facebook、Apple）の頭文字を取って総称する呼称。また GAFA に Netflix を足すと、順を変えて「FAANG（ファング）」になる。
ビジネスレター	平成 22 年に始めたアサダビジネスの情報発信ツール。 もうすぐ丸 10 年。 令和のビジネスレターもよろしくお願いします。

国際化が当たり前となってきたビジネス分野では、カタカナ語や略語が氾濫しています。社会の動きを知り、社会とつながっていくためには、ある程度新しいカタカナ語を知っておく必要がありそうです。